

SITE 4 死守した狭小空間から生まれた夢の趣味空間

Target 04

ロック黄金期リスニングルーム

「良い靴は世代を語る。良い靴は時を経てもっと良くなるもの。経年変化を楽しむ歴史の見本なのです」

ファッションをアートとして落とし込んだプロジェクトで知られるコンテンポラリー・アーティストセルゲイ・スヴィアチェンコ氏はスタイリングを持つ男だ。狭小空間に作

たオーディオスペースから、その一部を知ることができる。本来はコラージュなどの細かい作業をするときに使っている場所なのだが、素晴らしいオーディオ機器との出会いが、この狭小スペースの使い方を決めた。それがデンマークのBang & Olufsen社製チューナー/アンプ「ベオマスター1000」。

「これをいいコンディションで見つけられたのはとてもラッキーでした。しかも、ローズウッドでもチークでもない、カタログにも掲載されていないオーク材を使用しているんです。オークは経年により美しい飴色となり、現代のオークでは表現できない魅力を放っています」



「思うことです」と、嬉しそうに語った。

愛する音楽は1960年代から1970年代のロック黄金期。特に初期のザ・ビートルズだ。「1966年の『リボルバー』を聴くときには、同じ時代の音がここから聴くことができるとも興奮します。その時代のハードとソフトの融合、これは私がコレクターであるからこそ、強くそう

音楽を聴きながら作業するのに最適なスタジオ



Profile セルゲイ・スヴィアチェンコ邸

1952年生まれ、ウクライナ出身。建築家を経て、コンテンポラリー・アーティストに転向。現代古典主義を今日的に再解釈したヴィジュアルアートを発表。ヨーロッパ、アメリカで数々の個展を開く。ファッション・アイコンとして常に注目を集めている男の狭小空間だ

ロック黄金期の1960～1970年代のLPレコードのコレクションをしているセルゲイ・スヴィアチェンコ氏。中でもThe Beatles Greatest Hits, Volume 1, Parlophone (1966年)は新品同様のクオリティで非常にレア。また、Bang & Olufsen社と同じデンマーク盤のThe Beatles Hottest Hits (1965年)は「同じ国ですら相性がいいですよ」と嬉しそう。日本盤のLPも多い。「日本のレコードのクオリティの高さにはいつも驚かされます」とのことだ

Editor's Eye

本欄でないことは一瞬でわかった。一面はCD、もう一面はLPが「ギッシリ」並べられている。その音源たちを再生するオーディオはBang & Olufsen社製のアンプとスピーカーだった。MoMAのパーマネントコレクションに選ばれた美しい機器がザ・ビートルズを演奏する。贅沢過ぎる仕事のBGM、狭小スペースがシェアスタジオのように大きな空間になる。この部屋には「まだ」4人が揃っていた…。